

# 生物多様性フェア 2024 実施報告書

## 1. 開催概要

- (1) 開催日時 令和6年7月10日(水) 午後1時開始  
令和6年7月16日(火) 午前12時終了
- (2) 開催場所 江東区文化センター2階ロビー
- (3) 出展者 下記の27団体

### ●区内活動団体

生物多様性チーム江東  
木場プレーパークぼうけん隊  
江東エコリーダーの会  
こうとうビオトープネットワーク  
みどりネット Koto

### ●NPO法人、その他

特定非営利活動法人 NPO birth  
特定非営利活動法人 江東区ハニービー・プロジェクト  
特定非営利活動法人 ネイチャーリーダー江東  
特定非営利活動法人 マザーツリー自然学校  
特定非営利活動法人 みどり環境ネットワーク！  
KOKOPELLI+ (ココベリプラス)

### ●学校関係

専修大学松戸高等学校社会部  
東京環境工科専門学校  
東京都立科学技術高校  
武蔵野大学工学部サステナビリティ学科(環境システム学科)

### ●企業関係

アメニス東部地区グループ  
清水建設 株式会社  
株式会社 竹中工務店  
東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会  
株式会社 フジクラ  
一般社団法人江東CIGビジョン推進協会

### ●東京都、江東区役所関係

都立木場公園  
環境清掃部温暖化対策課(えこっくる江東)  
土木部河川公園課  
土木部施設保全課庶務係  
土木部管理課CIG推進係  
江東区みどりの基本計画推進会議・部会

## 2. ポスターセッション

ポスターセッションは、7月12日、13日に行った。発表団体は、下記の18団体であった。

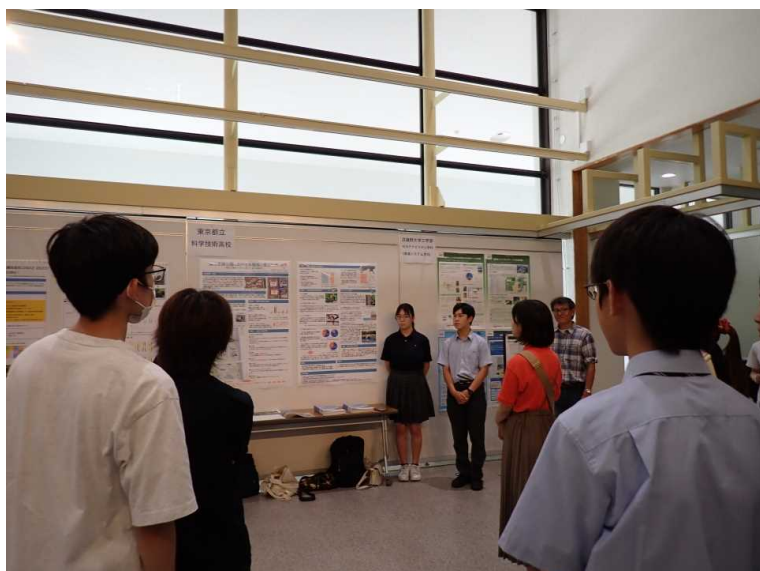
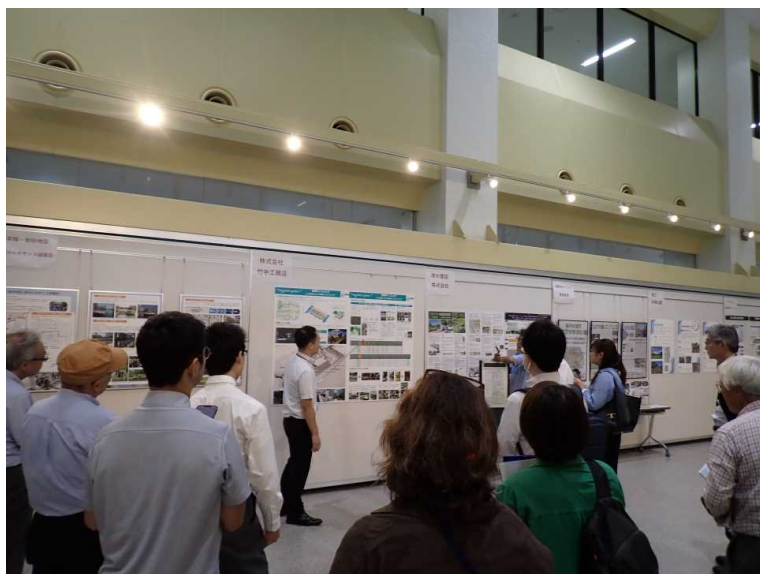
7月12日（金）		
1	14:00~14:15	株式会社 フジクラ
2	14:15~14:30	NPO法人 みどり環境ネットワーク!
3	14:30~14:45	株式会社 竹中工務店
4	14:45~15:00	東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会
5	15:00~15:15	NPO法人 江東区ハニービー・プロジェクト
6	15:15~15:30	木場プレーパークぼうけん隊
	15:30~15:45	休憩
7	15:45~16:00	江東区土木部管理課CIG推進係
8	16:00~16:15	江東区土木部河川公園課
9	16:15~16:30	NPO法人 マザーツリー自然学校
10	16:30~16:45	江東区土木部施設保全課庶務係
11	16:45~17:00	都立木場公園
12	17:00~17:15	清水建設株式会社
13	17:15~17:30	ココペリプラス

7月13日（土）		
1	14:00~14:15	生物多様性チーム江東
2	14:15~14:30	専修大学松戸高等学校社会部
3	14:30~14:45	東京都立科学技術高校
4	14:45~15:00	東京環境工科専門学校
5	15:00~15:15	武蔵野大学工学部サステナビリティ学科 （環境システム学科）
	15:15~15:30	休憩
6	15:30~15:45	NPO法人 ネイチャーリーダー江東
7	15:45~16:00	アメニス東部地区グループ
8	16:00~16:15	みどりネットKoto
9	16:15~16:30	NPO法人 NPObirth
10	16:30~16:45	みどりの基本計画推進会議部会

### 3. 会場全景



## ポスターセッション



# 4. 展示内容

## 生物多様性チーム江東



## 生物多様性チーム江東



## 木場プレーパークぼうけん隊




## 江東エコリーダーの会



## こうとうビオトープネットワーク

こうとうビオトープ  
ネットワーク

野草、昆虫や野鳥などと触れ合う  
場所を作っていきませんか。




自然観察会

こうとうビオトープネットワーク

- 活動目的**  
自然の少ない都心に生き物が戻ってくるように、身近な自然に目を向け、自然環境に理解と関心を深める。
- 活動内容**  
ビオトープ(公園の一部に池や草地を備えた場所、区は、ポケットエコスペースと呼んでいます)のりお所で活動しています。特定の植物、外来生物の増殖を抑える草や池の清掃などの管理作業と生き物の調査です。会員研修として、リース作り、押花、自然観察会なども行っております。
- 保全活動に参加するには**
  - 活動に興味を持たれた方は都営総合環境課係(03-3642-5099)へご連絡ください。
  - 活動に参加するためには、ボランティア登録(都営ビオトープネットワーク)へ記入して頂く必要があります。活動したい場所や種別が異なる内容によって選択できます。(会費は無料です。)
  - 入会する前、1日活動体験もできます。お奨めにしてください。

こうとうビオトープネットワーク	活動日
① 亀戸区立自然観察園(都営PS179号)	毎月第1回
② 豊洲一丁目第一公園(都営PS150号)	毎月第2回
③ 豊洲第2公園(都営PS148号)	毎月第3回
④ 上野池公園(都営PS110号)	毎月第4回
⑤ 豊洲1丁目公園(都営PS140号)	毎月第5回
⑥ 豊洲1丁目公園(都営PS155号)	毎月第6回
⑦ 豊洲一丁目第一公園(都営PS126号)	毎月第7回
⑧ 豊洲一丁目第一公園(都営PS117号)	毎月第8回



みどりネット Koto



特定非営利活動法人 NPO birth





特定非営利活動法人 江東区ハニービー・プロジェクト

江東区ハニービー・プロジェクト

**ミツバチを知ろう!**

【ミツバチを愛する心は】  
【蜜の女王蜂は】  
【ミツバチの寿命】  
【ミツバチの役割】  
【ミツバチの仲間】

【日本にいたるミツバチ】  
【ミツバチの生態】  
【ミツバチの巣】  
【ミツバチの働き】  
【ミツバチの歴史】

【ミツバチの生態】  
【ミツバチの働き】  
【ミツバチの歴史】



特定非営利活動法人 ネイチャーリーダー江東

ネイチャーリーダー江東

**NPO法人 ネイチャーリーダー江東**

活動の目的：  
自然と人間の共存する持続可能な地域社会を江東区に実現すること

そのためにすること：  
・この地域江東区の自然、生物多様性を豊かにする。  
（作り出す、拡げる、質を上げる、つなげる）  
・この自然が持続的に存在する仕組みを作ること。  
・地域の自然と人との持続的つながりを作り出す。

活動の4つの柱と各活動の関係図：

- 1 自然環境保全（江東区内ビオトープ3箇所の管理、保全活動支援）
- 2 自然環境調査（昆虫、植物、鳥類）
- 3 環境教育（自然観察会、生物多様性イベント開催他）
- 4 政策提言（自然と人の共生の提案、仕組みの提言他）

**自然環境保全**

自然環境保全の現状と課題

自然環境保全の推進

自然環境保全の推進

自然環境保全の推進

**環境教育**

自然観察会

保全体験会

環境教育の推進

環境教育の推進

環境教育の推進

特定非営利活動法人 マザーツリー自然学校



特定非営利活動法人 みどり環境ネットワーク！



# KOKOPELLI+ (ココペリプラス)



専修大学松戸高等学校社会部

## 専修大学松戸 高等学校社会部

### 生物多様性のある持続的なまちづくり実現に向けての戦略 —東京都江東区砂町地区を事例にして—

**研究目的**

1. 東京都江東区砂町地区から近代化以前の歴史を振り返る
2. 生物多様性のあるまちづくりを実現するためのまちづくりを提案する
3. 東京都江東区砂町地区のまちづくりを提案する

**研究方法**

- ・現地調査(フィールドワーク)
- ・インタビュー(インタビュー)
- ・アンケート調査(アンケート)

**研究内容**

- ・歴史地図の作成
- ・歴史地図の活用
- ・歴史地図の活用
- ・歴史地図の活用

**今後の展望**

- ・歴史地図の活用
- ・歴史地図の活用
- ・歴史地図の活用
- ・歴史地図の活用

### 生物多様性のある持続的なまちづくり実現に向けての戦略 —東京都江東区砂町地区を事例にして—

**目的**

生物多様性のある持続的なまちづくりを実現するためのまちづくりを提案する

**方法**

現地調査(フィールドワーク)、インタビュー(インタビュー)、アンケート調査(アンケート)

**研究内容**

歴史地図の作成、歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用

**今後の展望**

歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用

### 生物多様性のある持続的なまちづくり実現に向けての戦略 —東京都江東区砂町地区を事例にして—

**目的**

生物多様性のある持続的なまちづくりを実現するためのまちづくりを提案する

**方法**

現地調査(フィールドワーク)、インタビュー(インタビュー)、アンケート調査(アンケート)

**研究内容**

歴史地図の作成、歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用

**今後の展望**

歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用、歴史地図の活用

11

# 東京都立科学技術高校

## 東京都立科学技術高校

### 猿江恩賜公園における鳥類相と環境利用

～建設と利用が分かる都市公園の重要性～

【はじめに】 建設と利用の状況を知ることで、公園の重要性を認識し、環境利用を促進する。

【調査方法】 2022年4月～2023年4月の1年間、猿江恩賜公園をフィールドとして、公園の各エリア（北園、南園、カワセ）を対象に、鳥類の観察と環境利用の調査を行いました。

【調査結果】

**考察1 北園と南園の鳥類相**  
北園と南園の鳥類相を比較すると、北園は主に野鳥（シジュウカラ、カワセミ、カササギ）が観察され、南園は主にカワセミが観察された。これは、北園が緑地が多く、南園が水辺に近いことから考えられる。

**考察2 鳥類の環境利用**  
鳥類は主に緑地（芝生、木陰）や水辺（カワセミ）を利用している。また、公園の利用者（家族連れ、散歩者）の増加に伴って、鳥類の環境利用も増加していると考えられる。

**考察3 公園の環境利用**  
公園の環境利用は、主に緑地（芝生、木陰）や水辺（カワセミ）を利用している。また、公園の利用者（家族連れ、散歩者）の増加に伴って、鳥類の環境利用も増加していると考えられる。

【結論】 公園の環境利用は、主に緑地（芝生、木陰）や水辺（カワセミ）を利用している。また、公園の利用者（家族連れ、散歩者）の増加に伴って、鳥類の環境利用も増加していると考えられる。

【参考文献】  
1) 東京都立公園管理センター(2023) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
2) 東京都立公園管理センター(2022) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
3) 東京都立公園管理センター(2021) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
4) 東京都立公園管理センター(2020) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁

# 東京環境工科専門学校

## 東京環境工科専門学校

### 植生管理方法の違いによる外来植物抑制効果と植生変化(2022~2023)

～セイタカアワダチソウ抑制による植生変化～

【目的】 外来植物(セイタカアワダチソウ)を対象に複数の植生管理手法による抑制効果と植生変化を比較する。

【方法】 東京都東区 荒川川敷 砂町(ES:ガゼットエコスペース)にて調査を行った。2022年度は調査の準備と観察を行い、2023年度は調査の実施と観察を行った。

【調査結果】

セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* は、北アメリカ原産の外来植物。日本全国の帰化植物の100種類中最も分布域が広いため、最も危険な外来植物と見なされている。また、生育力が高く、繁殖力が強く、除草剤が効かない。これにより、在来植物の生育を抑制し、植生を単純化させる。

【植生管理手法】

- 6/1 ワンコーン: 無農薬(比較対象) → 刈り取り(1回のみ) → 刈り取り(複数回) → 刈り取り(複数回) → 刈り取り(複数回)
- 7/1 ワンコーン: 無農薬(比較対象) → 刈り取り(1回のみ) → 刈り取り(複数回) → 刈り取り(複数回) → 刈り取り(複数回)

【植生変化の観察】

2022年6月: 観察と植生管理(6月)

2022年10月: 観察と植生管理(10月)

2023年6月: 観察と植生管理(6月)

2023年10月: 観察と植生管理(10月)

【結論】 植生管理手法の違いにより、セイタカアワダチソウの抑制効果が認められた。また、植生も多様化していることが確認された。

【参考文献】  
1) 東京都立公園管理センター(2023) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
2) 東京都立公園管理センター(2022) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
3) 東京都立公園管理センター(2021) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁  
4) 東京都立公園管理センター(2020) 公園管理年報 138頁、140頁、141頁、142頁

## 武蔵野大学工学部サステナビリティ学科 (環境システム学科)



## アメニス東部地区グループ



清水建設 株式会社



株式会社 竹中工務店



東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会



株式会社 フジクラ



一般社団法人江東C I Gビジョン推進協会



都立木場公園





江東区環境清掃部温暖化対策課（えこっくる江東）



江東区土木部河川公園課



### 江東区土木部施設保全課庶務係



### 江東区土木部管理課 CIG 推進係



江東区みどりの基本計画推進会議・部会



## 5. 会場配布資料

# 生物多様性フェア 2024 出展団体の紹介

- ◎ 開催日時 2024年7月10日(水)13:00～16日(火)12:00
- ◎ 会場 江東区文化センター 2階ロビー
- ◎ ポスターセッション  
2024年7月12日(金)14:00～17:00  
7月13日(土)14:00～17:00

<p><b>木場プレーパークぼうけん隊</b></p> <p>木場公園南のぼうけん広場にて1月・8月を除く毎月第2土曜日10時半～15時まで開催。 公園の豊かな自然や廃材を活かし木工、泥遊び、ロープ、絵の具、ベーゴマ、昔遊び、布遊び等。どなたでも自由に参加し遊ぶ事が出来ます。沢山よごれて遊んじゃおー</p>  	<p><b>江東エコリーダーの会</b></p> <p>温暖化防止のため「みどりのカーテン」の啓蒙活動・水彩都市の自然を守るため新砂干潟の清掃活動・観察会、隅田川クリーン大作戦等の活動をしております。活動場所は環境学習情報館・その他出前講座もあります。</p> 
<p><b>こうとうビオトープネットワーク</b></p> <p>ビオトープ（公園の一部に池や草地を備えた場所で、区は、ポケットエコスペースと呼んでいます）の9ヶ所で活動をしています。特定の植物、外来生物の増殖を抑えることや池の清掃などの管理活動と生き物の調査です。会員研修として、リース作り、押花、自然観察会なども行っています。</p> 	<p><b>みどりネットK o t o</b></p> <p>江東区が花とみどりに彩られた、安全で住みやすい街になることを願って活動を続けています。 コミュニティガーデンの活動支援を行うほか、うえるカメ（亀戸駅前北口花壇活動）や、グリーンフェスタ in 東陽公園などの事業を行っています。</p>   <p>(facebook)</p>
<p><b>NPO 法人 NPO B i r t h</b></p> <p>NPO birthは1997年、身近な自然を守ることを目標にかけ設立したNPO法人です。25年を超える実績と、自然環境や協働の専門知識により、公園緑地を拠点に、都市の「公園力」を向上させます。様々な主体とともに取り組むことで、ライフスタイルの変革をリードし、人と自然が共生できる「みどりのまちづくり」を実現していきます。</p>  	<p><b>NPO 法人江東区ハニービー・プロジェクト</b></p> <p>都市の生態系回復や生物多様性、地域福祉への貢献などを目的に都市養蜂を行っています。2015年3月活動開始。2017年NPO法人設立。現在、(株)ムトウユニパック [永代1] とヤマト通信工業(株) [清澄3] の2社と協力提携を結び、両社の屋上で活動しています。</p>   <p><a href="https://honeypro-koto.or.jp/">https://honeypro-koto.or.jp/</a></p>

<p><b>NPO 法人ネイチャーリーダー江東</b></p> <p>自然と人が共生する街を江東区に実現することを目的に活動しています。</p> <p>江東区の自然を復元し維持するビオトープ管理、自然観察会などの環境教育、区内の生物生息状況を調査する活動などを行っています。</p>  	<p><b>NPO 法人マザーズリー自然学校</b></p> <p>都市公園を活用して、幼少期のこどもたちと自然をつなぐ活動をしています。</p> <p>自然の中での遊びや体験を通して、季節の移ろいや小さないのちの営みに触れながら、こどもたちの豊かな感性や自然を愛しむ心、創造する力や生きる力を大切に育んでいます。</p>  
<p><b>NPO 法人みどり環境ネットワーク！</b></p> <p>都市の身近なみどりをより良い形で次世代に残して行くために、その魅力を伝える様々なイベント・講座を行っています。</p> <p>江東区では 2002 年から剪定枝のリサイクル、「みどりのリサイクル」の普及啓発にも携わり、区立施設へたい肥作りの講師派遣等も行っています。</p> <p>また今回は 2022 年から始めた都立光が丘公園生き物調査の成果も展示。身近な生き物を通じて、23 区の東（江東）と西（練馬）で新たなネットワークができれば嬉しいです！</p>  	<p><b>KOKOPELLI+ (ココペリ プラス)</b></p> <p>私たちは「人と自然をもっと近くに・・・」というテーマで、主に水域を中心とした河川、海岸での自然再生やビオトープの造成・管理・調査、自然観察や移動水族館、海洋プラスチックゴミ等の環境学習を行なっています。</p> <p>この近辺では、隅田川テラス（越中島ビオトープ）や竹芝干潟、旧中川等を主なフィールドとしております。</p>  
<p><b>専修大学松戸高等学校社会部</b></p> <p>千葉県松戸市にある専修大学松戸高校では社会部が部活動の一つに位置づけられています。歴史や地理、政治などのトピックについて深掘りして研究を進めていくことを目的に部員1名で活動を行っています。</p> <p>今回は「生物多様性にあふれる仙台堀川公園の実現の方法」をテーマに研究し、その成果について発表します。</p> 	<p><b>東京環境工科専門学校</b></p> <p>生きものを中心とした自然環境、野外活動に関わる知識や技術などを身につける学校です。</p> <p>学校は錦糸町にあり、江東区内では、公園での自然観察やビオトープの一部をお借りしての生物調査や外来種管理など、テーマを決めて活動しています。</p>  
<p><b>東京都立科学技術高校</b></p> <p>本校はスーパーサイエンスハイスクールに指定されている理系高校です。私たち科学研究部は、隣接する猿江恩賜公園で地道な観察を続け、生き物の調査を行っています。昨年はヒキガエル研究が全国優勝を果たすことができました（応援ありがとうございました！）。今回は、公園内の鳥類の季節変化などに関する研究結果を紹介します。</p>  	<p><b>武蔵野大学工学部サステナビリティ学科（環境システム学科）</b></p> <p>武蔵野大学サステナビリティ学科（旧環境システム学科）は有明キャンパス学内、学外ビオトープでの活動を行っています。</p> <p>さまざまな外部の組織の方にアドバイスをいただきながら、学外ビオトープの水質の改善や生物調査、環境教育などについて学生主体で取り組んでいます。</p>  

<p><b>アメニス東部地区グループ</b></p> <p>当グループは指定管理者として、7つの都立公園管理運営業務を行っています。猿江恩賜公園南園では東京都の「多様な生物が暮らす都立公園づくり事業」が始まり、生物多様性保全の普及啓発に取り組んでいます。当園のボランティア団体「和ぎの会」と協働で、歴史やモニタリング結果、順応的管理作業について展示します。</p>  	<p><b>清水建設 株式会社</b></p> <p>清水建設株式会社では、自然共生社会の実現にむけてグリーンインフラ+ (PLUS) とのコンセプトを掲げ、人と生き物がイキイキと共生できる場づくりを進めています。技術研究所(越中島)では、「再生の杜ビオトープ」を2006年に整備し、15年以上にわたり都市の生態系回復の実証に取り組んでいます。</p>  
<p><b>株式会社 竹中工務店</b></p> <p>株式会社竹中工務店は 2004 年に東京本店を東陽町に構え、まちの価値を高める「作品」を一貫して生み出してきました。</p> <p>昨年 10 月に、東陽町駅東側に、カフェやオフィスから成る緑あふれる複合施設「Toyoch green+ (東陽町ぐるんたす)」をオープンし、マルシェなどのイベントやコミュニティガーデン活動などに取り組んでいます。</p>  	<p><b>東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会</b></p> <p>「東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会」は東陽1丁目町会、2丁目町会、新砂1丁目周辺の企業・団体等で構成した、水辺を活用し、地域の活性化を目指す団体です。</p> <p>2020 年秋に東京都港湾局における推進地区および団体として指定を受け、汐浜運河沿いをフィールドに水辺のにぎわい、環境、防災をテーマに活動中です。</p>  
<p><b>株式会社 フジクラ</b></p> <p>「フジクラ 木場千年の森」は、自然を守るビオトープと地域の皆さまが憩い、また未来を担う子どもたちの自然・環境教育に役立つガーデンの機能を備えています。</p> <p>園内には池や小川があり、在来種の樹木や魚を配して、江戸深川の原風景の再現を目指しました。時間とともに豊かな生態系がはぐくまれ、生き物たちにとって大きく豊かな森となり、それがはるか一千年先の未来へと続くように、私たちは心から願っています。</p>  	<p><b>一般社団法人江東CIGビジョン推進協会</b></p> <p>これまで江東CIGビジョン推進協議会として、シンポジウムの開催や区への提言など、江東区内の造園の専門家の知識と経験を活かし、江東区のCity in the Greenの実現を支援してきました。2024 年からは一般社団法人として、本格的に活動しようと体制づくりを進めています。ご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。</p>  

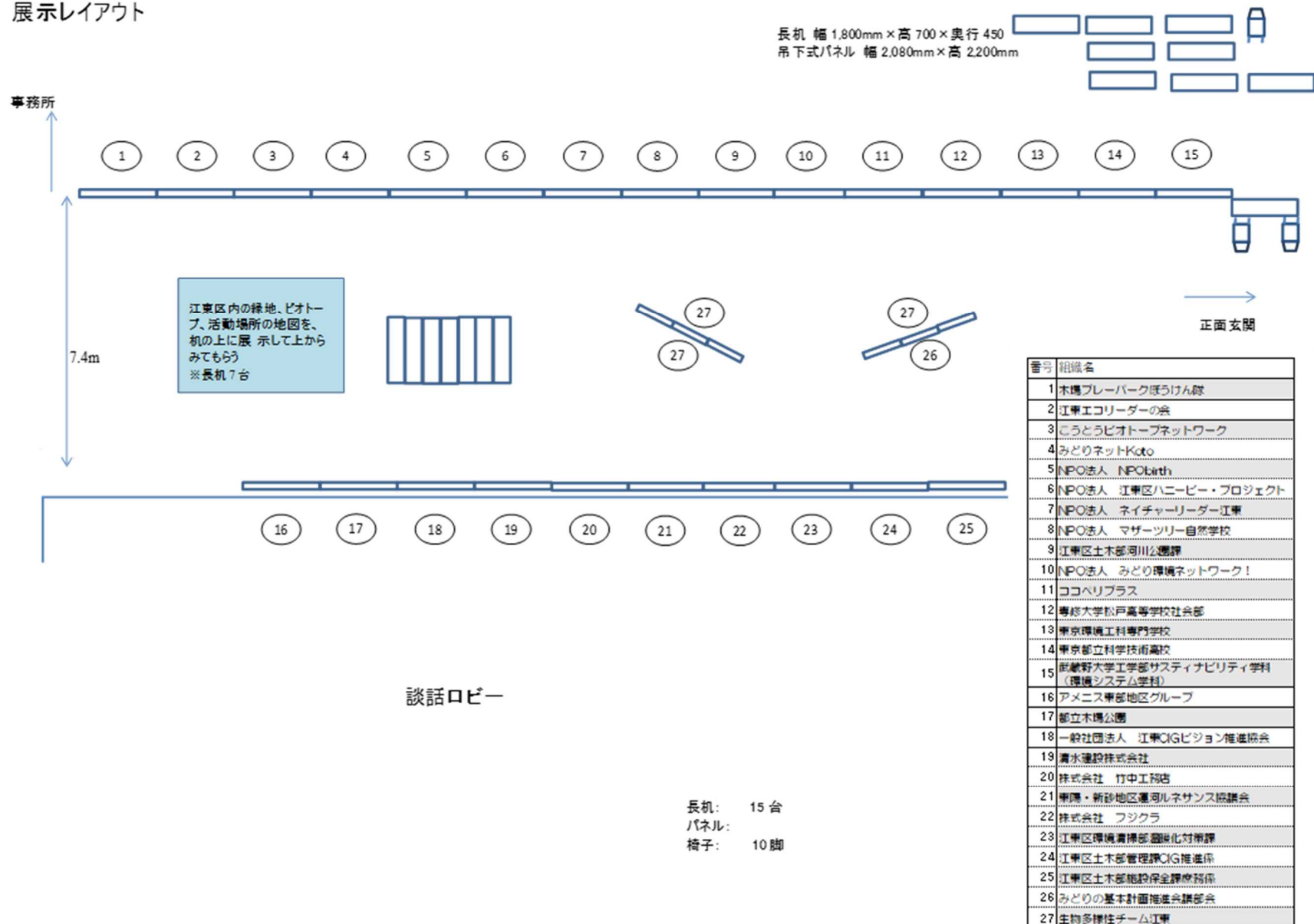
●出展団体の連絡先

木場プレーパークぼうけん隊 kibaplaypark.s@gmail.com	江東エコリーダーの会 info@koto.eco.to
こうとうビオトープネットワーク ***	みどりネットK o t o fwij2713@nifty.com
NPO B i r t h info@np0-birth.org	江東区ハニービー・プロジェクト honeypro328@docomo.ne.jp
ネイチャーリーダー江東 info@nlkoto.org	マザーツリー自然学校 mother-tree@triton.ocn.ne.jp
みどり環境ネットワーク! info@midorikankyo.net	ココペリプラス info@kokopelliplus.jp
専修大学松戸高等学校社会部 izumi.ta@isc.senshu-u.ac.jp	東京環境工科専門学校 ***
東京都立科学技術高校 Ryuuhei_1_Satou@member.metro.tokyo.jp	武蔵野大学工学部サステナビリティ学科 2030sdgs@musashino-u.ac.jp
アメニス東部地区グループ sarue@tokyo-eastpark.com	清水建設 株式会社 gi-plus-info-mlist@shimz.co.jp
株式会社竹中工務店 nagatani.tsutomu@takenaka.co.jp	東陽・新砂地区運河ルネサンス unrune@takenaka.co.jp
株式会社 フジクラ ***	江東CIGビジョン推進協会 info@koto-cig.com
都立木場公園 kiba@tokyo-park.or.jp	温暖化対策課 ekokkuru2007@city.koto.lg.jp
河川公園課 kasenkouen@city.koto.lg.jp	施設保全課庶務係 470701@city.koto.lg.jp
管理課 CIG 推進係 cigmidori@city.koto.lg.jp	生物多様性チーム江東 info@teamkoto.org

<p><b>都立木場公園</b></p> <p>木場公園は1969年に公園を作る都市計画が策定され、1992年に開園しました。都市緑化植物園は開園当時からあり、平成10年～11年にかけて整備工事が行われ現在の姿となりました。植物園の中には「湿生植物見本園」のほか、日本で唯一の「帰化植物見本園」があります。</p>  	<p><b>江東区環境清掃部温暖化対策課</b></p> <p>環境学習情報館えこっくる江東は、環境に関する学習、活動及び情報発信の拠点として、平成19年2月に江東区が設置した公設公営の施設です。こどもから大人まで誰でも楽しく、体感しながら、ごみ処理問題や地球全体の環境問題などを学べます。</p>  
<p><b>江東区土木部河川公園課</b></p> <p>江東区は、河川32km・運河18km、公園面積は江戸川区について第2位で名実ともに「水彩都市」です。河川公園課は、まさに本区の魅力である「水とみどり」の整備を担っており、水辺と一体となった緑豊かなうらおいのある都市空間と豊かな生態系が共生する水辺を活かしたみどりのネットワークづくりを進めています。</p>  	<p><b>江東区土木部施設保全課庶務係</b></p> <p>区内の整備された公園や河川、緑地にも様々な生態系が作られていますが、区では、より豊かな生態系の保全を目的に、公園などの一角に湿地や草地を備えたビオトープを整備しています。江東区では個々のビオトープの規模が小さいため親しみを込めて「ポケットエコスペース」(PBS)と呼んでいます。</p>  
<p><b>江東区土木部管理課 CIG 推進係</b></p> <p>「CITY IN THE GREEN (CIG)」は、江東区が目指すみどりのまちづくりの基本となる考え方であり、「みどりの中の都市」をイメージしています。みどりの資産を大切に守り、育てていくとともに、あらゆる場所での緑化を進めることで、まち全体がみどりに囲まれた「水彩都市・江東」を実現していきます。</p>  	<p><b>江東区みどりの基本計画推進会議 部会</b></p> <p>部会はCIGを推進するための集まりで、部会員は区民、区内の活動団体や緑関係の会社の方々、区役所職員によって構成されています。</p> <p>課題解決のための検討や、東陽地区のみどりの状況調査、区役所芝生広場の花壇整備などの活動を行っています。</p>  
<p><b>生物多様性チーム江東</b></p> <p>2010年名古屋で開催された生物多様性条約国会議(COP10)の交流フェアで江東区の生物多様性活動を紹介するため、市民団体、個人、行政職員、企業がメンバーとして結成した団体です。2021年に生物多様性江東区戦略(市民案)を作成し、江東区の生物多様性地域戦略策定を推進しています。</p>  	

## 6. 会場レイアウト

### 展示レイアウト





## 7. エクスカーションの実施

### (1) 開催主旨

フェアのエクスカーションとして越中島と木場にあるビオトープ3カ所を巡り、各ビオトープに息づいている自然やその設置の目的、維持管理の仕方などを見学し、区内のビオトープの状況を学ぶとともに、江東区の生物多様性について考えるための機会とする。てみましょう。

### (2) 開催概要

①開催日時 2024年7月11日(木) 午前10時~12時

②見学ルート : 清水建設株式会社技術研究所(ビオトープ) ⇒江東区立越中島小学校  
(ビオトープ) ⇒株式会社フジクラ千年の森

③参加者 17名





江東区立越中島小学校



株式会社フジクラ千年の森



株式会社フジクラ千年の森